

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター
実施機関名： (株)日本能率協会コンサルティング

(B)組織マネジメント	職場のリーダーに求められる統率力の向上
組織力強化	

コースのねらい	職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能や職位に応じた組織を統率するための能力を理解し、職場のチームワークを牽引できる能力を習得する。
---------	---

	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1	組織の管理	(1)現状の組織の問題点の再確認【演習あり】 ・自組織の現状を振り返り、抱えている問題を出し合い、模造紙に見える化することで、自分のリーダーシップへの疑問を醸成し、以降の講義や演習への心構えをつくる。 (2)組織管理の基本 ・企業活動における組織の役割と管理者・監督者・職場リーダーの役割を再確認し、組織を円滑に運営するために2大管理(業務のマネジメントと人のマネジメント)が重要であることを理解させる。 ・(1)で出てきた問題点を引用しながら、自部門・自社では組織マネジメントのどの部分が足りないのかを意識しながら以降の講義、演習に臨んでいただく。	6.0
	2	職場の生産性と統率力	(1)業務マネジメントの特性と管理のポイント【演習あり】 ・自部門の業務のマネジメント(PDCAサイクル)をセルフチェックし、課題を明らかにし、グループメンバーの状況と比較検討する。 ・業務の優先順位付けの手法を学び、戦略的な業務や将来につながる業務に注力すると同時に、ムダな業務を削減し生産性の向上を目指す。 (2)状況に応じたリーダーシップと統率力 ビジネスの先行きが不透明で技術革新のスピードが速い今の時代に最も適したリーダーに求められる役割・リーダーシップスタイルを解説し、今の自分とのギャップに気づいていただく。 (3)人のマネジメントと心理的安全性【演習あり】 ・自部門の人のマネジメント(コミュニケーションと心理的安全性)をセルフチェックし、課題を明らかにし、グループメンバーの状況と比較検討する。 ・「心理的安全性」を学び、離職やメンタルダウン、ハラスメントなどの生産性が低下する要因を生み出さない、不安の強い時代に心身共に健やかで安心して働ける信頼で結ばれた強いチームの作り方を学ぶ。	
	3	職場の情報伝達	(1)部下の話を聴く力(傾聴力)を強化する【演習あり】 信頼関係とやる気を引き出し、チームワークを強固にし、日々の情報伝達が円滑に進む土台をつくるために、「相手の話を聴く」重要性に気づき、「部下の話を聴くスキル」を習得する。 (2)部下の強みを引き出す力(承認のスキル)を強化する ・部下を日頃からよく観察し、その存在と行動や能力を言葉にしてみとめてほめることで、部下が強みを自覚し自信とやる気をもって高い生産性を示せる状態を育む。 (3)効果的な伝え方・指導方法を強化する【演習あり】 ・部下が受け取りやすいような表現で、感情的になることなく、わかりやすく、行動の変容につながる伝え方(説明・指示とフィードバック)のポイントを、良い例・悪い例の検討を通じて理解する。	

カリキュラム作成のポイント
・最初に現状の組織の問題を洗い出していただくことで、以後の講義や演習への関心を高め、自分や自組織に何が欠けていたのかに気づき、自分事として改善していこうとする積極的な姿勢を生み出します。 ・同時に、最初の段階で講師も受講者の現状の問題点を把握できるので、以後の講義において各受講生の悩みや問題に焦点を当てることで、自部門・自社の具体的な問題解決につなげ訓練の効果を高めています。 ・組織管理の基本では、経営の視点から管理を語ることで、目の前の業務、部下のマネジャーという近視眼的な見方から「会社の経営・事業運営、生産性の向上」の全社的なリーダーという横通しで俯瞰的な見方を養います。 ・マネジメントを「業務のマネジメント」と「人のマネジメント」に分け、まずモノやプロセス、タスクという論理性が問われるマネジメントと、人間という感情がともなうマネジメントは全く違った知識やスキルが必要となることを理解していただきます。 ・「業務のマネジメント」と「人のマネジメント」各々の説明の前には、セルフチェックで今どの程度できているか、意識しているかを理解することで、自ら気づき、反省と改善意欲を生み出します。 ・「人のマネジメント」では生産性向上の鍵を握る「心理的安全性の高い」チームづくりとそのためのコミュニケーション【演習】を盛り込みました。 ・一方的に講義を聴くのではなく、講義の内容について自分のリーダーシップや自部門・チームのあり方を振り返り、グループメンバーで比較検討する【演習】、リーダーとして部下に対する良い関わり方をするためのコミュニケーション・スキル訓練【演習】を多数行い、体験することで身体と心に刻みつけ、職場での実践を強うながします。 ・訓練に慣れていなかったり、コミュニケーションが苦手な受講者でも、抵抗を感じることなく講義に耳を傾け演習で自然に気づくことができるよう、講師が受講生に徹底的に寄り添い巻き込む内容となっています。 ・講師は、経営コンサルタントとして経験した職場での具体的な事例を提供し、心理職(公認心理師)・プロコーチ・カウンセラーとして実際に相談にのっているプロのスキルを伝授します。

講師から一言 (リーフレット掲載用 50〜70字程度)
業務と人の両面からリーダーの役割を学び、話を聴く・良さを伝える・改善を促す積極的な行動を通じて、メンバーが力を発揮できる職場をつくります。